

令和5年度 個別事業評価シート (令和4年度事業実施後)

事業名	営業部設置事業	所管部・課	秘書政策課
-----	---------	-------	-------

1. 総合計画（後期基本計画）及び地域創生総合戦略との関連、事業目的・事業概要

総合計画との関連	シティプロモーションの推進	
重点戦略の区分	【まちの魅力】選ばれるまちづくり	
事業目的	<p>企業に向けて本市をPRし、本市（地元企業含む）と企業の課題解決に向けた事業が展開できるよう、それぞれのメリットを生かしたマッチングを図り、地域の活性化につなげるとともに、今後における企業との連携を強化し、関係人口の創出をめざす。</p>	
事業概要	<p>本市をPRするため、企業を対象にオンラインセミナーやモニターツアーを開催し、以下の考え方に基づき企業とのマッチングを図る。</p> <p>【企業課題解決型】 森林セラピーをはじめ、発酵文化、アウトドアアクティビティなど、宍粟市の地域資源を組み合わせたプログラムやコンテンツを生かし、市外企業が抱える課題解決や、社員研修・福利厚生・SDGs活動等で継続的に地域を活用してもらう。</p> <p>【地域課題解決型】 企業が有するソリューションや技術、ノウハウを活用し、多様な分野で宍粟市が抱える課題解決に向けて協働して取り組む。</p> <div style="text-align: center;"> <pre> graph TD A[宍粟市] --> B((マッチング)) C[企業] --> B B --> D[企業課題解決型 (企業が抱える課題解決や、社員研修、福利厚生)] B --> E[地域課題解決型 (企業のノウハウを活用した地域課題解決に向けた協働)] </pre> </div>	

2. 成果指標の分析

成果指標（総合計画や総合戦略、予算説明書に定める指標等）					H30	R1	R2	R3	R4
計画等区分	営業部設置事業	目標値	包括連携協定企業数	目標値					-
				実績値					3
				達成率					-
計画等区分	営業部設置事業	目標値	モニターツアー参加企業数	目標値					-
				実績値					20
				達成率					-
計画等区分		目標値		目標値					
				実績値					
				達成率					

指標の分析 ※その他、数値では表しにくい成果や実施状況等があれば記載

※R4実績値は、継続した利用や取組が見込めるものとして協定締結した企業数を計上しています。

3. 一次評価（所管部局の評価）

I. これまでの具体的な取り組み内容、目標の達成度等	
担当部局の 評価区分	<p>企業の健康経営をテーマとしたオンラインセミナーを開催した結果、約42社（62人）の参加があり情報発信等PR活動を行った。セミナー後にモニターツアーを開催した結果、20社の参加があり、森林セラピー体験や市の資源の視察を行い、福利厚生事業や研修事業、更にワーケーション等での活用の可能性についてヒアリングし意見交換を行った。これにより、以下のとおり企業との協定の締結につながった。</p>
非常に効果があった	<p>【企業課題解決型】 トッパングループ健康保険組合と包括連携協定を締結（R4.7）し、市内宿泊施設4箇所が保養所指定され、健康保険組合からの組合員の宿泊費と森林セラピー体験費用の助成制度により継続した誘客の取り組みを行った。</p> <p>【地域課題解決型】 小林製薬株式会社（R4.8）とは、発酵文化を中心とした観光商工振興に向けた事業展開、中外製薬株式会社（R5.3）とは、市民の健康寿命の延伸による地域活性化のための協働事業の実施に向け協定を締結し、令和5年度以降具体的な事業実施に向け企業との調整を行っていくこととなった。また、宍粟市内でのローカルビジネスの創出を考えるプロジェクト（100DIVE）の市内外の参加者による、酒だるサウナを製造販売する会社の設立につながった。</p>
II. 課題（めざす姿と現状の差）、目標を達成できていない・課題を克服できない理由 ※現場（市民等）の声や思いなどから確認できる理由を記載すること	
	<p>【企業課題解決型】 継続した受入れができるように森林セラピーをはじめ充実したプログラムの提供が求められ、プログラムを提供するしそ森林王国観光協会との調整・連携が重要である。</p> <p>【地域課題解決型】 企業と市内事業者との連携が深化するように市は調整役を担っており、両者にとってプラスになる活動が求められている。小林製薬においては、日本酒発祥の地宍粟でお酒造りを継承されてきた市内の2つの酒蔵との連携を進めている。中外製薬との連携では、健康診断の受診率の向上を図るために市と協議をしている。いずれも進捗を確認しながら関係者に効果が及ぶように進めていかなければならない。</p> <p>【共通課題】 年間2件程度の新規協定締結をめざしているが、市と企業両社のメリットを確認した上で事業展開を組み立てる必要があることから、企業との関係性構築など一定の期間を要する。また、協定企業においては、継続した関係構築のためのアプローチ手法が課題となっている。</p>
III. 今後の事業展開（課題解決に向け、どのようなことに取り組んでいくか）	
担当部局の 今後の方向性	
同内容で継続	<p>協定締結3企業のほか、モニターツアー参加企業など協定締結までは至らなかったが、関係性を構築している企業への継続した営業活動の展開が必要である。また、企業研修等の受け入れ体制について、コロナ後の企業が求めるニーズの変化に対応できるよう、観光協会と連携し、森林セラピー体験だけでなくアクティビティや観光資源を活用したプログラムの提供し利用促進を図る。企業のワーケーションやサテライトオフィス活用は、宍粟市を拠点とする理由が必要であり、継続した市と企業、地域との関係構築から徐々にステップアップをめざしていく。</p>

4. 二次評価（行政評価委員会の評価）

I. 評価・課題点
<p>当該事業はアウトカムによる成果が出るまでに時間を要し、成果も見えづらいが、企業との関係を一から構築していく中で、大手企業3社と協定を締結できたことは評価できる。</p> <p>今後の課題として、当事業の目標は、サテライトオフィスの設置など関係人口の創出であるが、関係人口の創出までの成果は長期間に渡って醸成されていくものであることから、事業実施期間内における目標について整理する必要がある。また、協定を締結した企業との継続した関係の構築及び深化や新たな企業との協定締結に向けた取組についてどのような体制で進めていくのか整理する必要がある。</p>
II. 改善の方向性
<p>当該事業の長期的な目標は関係人口の創出であるが、事業実施期間における目標として、アウトカムできる指標を設定する必要がある。あわせて、事業実施期間における目標に対する今後の方針や取組について再整理が必要である。</p> <p>行政及び市内企業と協定企業（協定締結前の企業も含む）が抱える課題を抽出し、その問題を双方がメリットとなり解決できるよう情報共有ができる環境の整備が必要である。</p>
III. 拡充・内容の見直し・縮小又は廃止を検討すべき事務事業
<p>事業実施期間における目標、方針及び取組を整理し、取組に係る具体的なロードマップを作成するとともに、取組内容については進捗状況に応じて適宜見直し、整理する必要がある。</p> <p>協定企業との継続した関係構築と深化のため、今後計画している交流サロンの実施を早急に進めていく必要がある。また、交流サロンは協定企業だけでなく協定締結前の企業との情報交換の場としても活用し、双方がメリットとなる協定につながる場として展開する必要がある。</p> <p>企業との協定及び協定に伴う連携事業の情報は、企業だけでなく市民等に幅広く積極的に周知することで、連携事業の波及効果を市民に還元するとともに本市の知名度向上につなげていく必要がある。</p>

5. 外部評価（総合計画及び地域創生戦略委員会の評価）

I. 評価・課題点
II. 改善の方向性
III. 拡充・内容の見直し・縮小又は廃止を検討すべき事務事業